

佐々木あけみの一般質問 (概略)

※地元図書館に、県議会の議事録があります。 ※県議会のホームページに掲載されています。

一 知事の政治姿勢について

1. チャレンジプランの策定
2. 人口減少問題
3. 少子化問題
 - (1) 雇用形態とM字型の女性の働き方
 - (2) 男女平等度ランキング
4. 空き家・廃屋問題
5. 人口減少社会の学校の統廃合問題
6. 農山漁村における再生可能エネルギーの活用

二 県政の課題について

1. 子どもの貧困
2. 防災対策
 - (1) ハード・ソフトの課題と今後のとりくみ
 - (2) 土砂災害特別警戒区域内にある県営住宅の対応
 - (3) 農業用ダム・ため池の耐震調査

3. 犯罪被害者等支援

- (1) 現行の対策・条例の制定
- (2) 性犯罪被害者のためのワンストップ支援センターの設置

4. 健康問題

- (1) シックハウス対策
- (2) 化学物質過敏症問題

三 上関原発問題について

- (1) 予定地の海面埋め立て問題

四 岩国基地問題

- (1) 基地の現状と国の防衛政策での位置づけ
- (2) 新たな特別交付金



田村順玄・岩国市議と

岩国を第二の沖縄にさせないために

〇 一般質問の質疑から (一部抜粋) 〇

一. 知事の政治姿勢について

1. チャレンジプランの策定

佐々木

①15の突破プロジェクトと62の重点施策からなるチャレンジプランは、今後4年間の総合計画だが、これまでの総合計画をどのように総括しているか。

また、これまでとチャレンジプランとの違い、めざすものは何か。

②基地と原発の二つの国策は、県民の安全・安心に大きく関わる存在だ。チャレンジプランの中でどう位置づけているのか。

渡邊総務部長

①総合計画に基づき、その時々々の行政課題に対応してきたが、社会構造的な問題も背景に、若者が県外に流出している。人口減少は、県づくりに大きな影響を及ぼすことが予想される。

このため、プランでは、人口減少対策を重視し、「産業」「地域」「人材」の活力を生み出すために、産業構造の変化への対応・中山間地域の活性化・

社会総がかりで子育て環境の充実など、重点的にとりくんでいく。

②県民の安心・安全の確保の観点で、その時に応じて個別・具体的に対応していく。

2. 人口減少問題

佐々木

政府の人口20万人以上の中核市を中心とする地方中枢拠点都市圏構想は、「日本創生会議」の増田レポートと同じく、市町村合併による「選択と集中」の発想ではないか。

この構想の延長には、道州制導入論議もあるやに聞き、政府の人口減少対策の真意を疑うが、見解をたずねる。

また、「平成の大合併」の結果、市町周辺部の疲弊した現状をどう捉えているか。

渡邊総務部長

政府の構想は、人口20万人以上の中心都市が近隣の市町村と連携して圏域を構成し、人口減少に対し「地方が踏みとどまるための拠点」を形成しようとするものだ。